

日程第2、一般質問を行います。

昨日に引き続き、通告順に発言を許します。

阿部裕和議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。〔2番 阿部裕和君登壇〕

○2番（阿部裕和君）

おはようございます。みらい創造クラブ、阿部裕和でございます。

発言通告書に基づき、1回目の質問をさせていただきます。

1、道の駅「親不知ピアパーク」及び周辺の整備について。

大自然と農水産物に恵まれた糸魚川市にスポットが当てられ、地方放送のみならず全国放送でも当市が取り上げられることが増え、うれしく思うと同時に、さらに広報していく絶好の機会だと考えます。記憶に新しいところでは撮影場所に親不知ピアパークが選ばれ、ヒスイ探しや岩ガキ等のグルメがテレビで紹介されました。

また、親不知ピアパークは、平成30年3月24日からETC2.0搭載車で、高速道路利用者が休憩のため高速道路から一時退出しても、道の駅で休憩して戻れば、降りないときと同じ料金で利用可能となる「賢い料金」社会実験対象の道の駅でもあります。

施設の開設から30年以上がたち、時代もニーズも変化しております。これらのことを踏まえ、今こそ新たな展開の検討・具体化を進め、観光振興や交流人口の拡大に取り組むフェーズだと考え、以下伺います。

- (1) 令和2年3月27日から令和4年6月30日まで、高速道路の一時退出可能時間が、1時間から3時間に延長されました。それにより道の駅の利用者数の推移は、どのような変化があったか伺います。
- (2) 多くの方が利用する道の駅ですが、老朽化が進み時代に合わず、道の駅として利用しづらい施設となっています。今後の整備計画について伺います。
- (3) 翡翠ふるさと館では、橋立ヒスイ峡から移設された世界最大級のヒスイの原石の展示がされていますが、現在の取組状況と今後の展望について伺います。
- (4) 道の駅にオートキャンプ場やRVパーク（車中泊施設）といった、アウトドア施設の整備を進める自治体もあります。目の前に広がる海の絶景が魅力の親不知ピアパークでの整備の可能性について伺います。
- (5) 親不知海水浴場は、市内に6つある海水浴場の中で唯一シャワー設備のない海水浴場ですが、シャワー設備をはじめとした環境整備について伺います。
- (6) 自転車、歩行者に対して国道8号の天険トンネルを避けるよう親不知コミュニティロードに誘導していますが、道路が大きく破損している箇所があります。観光資源としても価値のある親不知コミュニティロードの今後の整備について伺います。

2、ヒスイを最大限に生かした取組の推進について。

現在、県ではヒスイの「県の石」指定に係る検討委員会が開かれており、糸魚川市にとって観光のエースとも言われているヒスイが県の石に指定されれば、当市が全国から注目されることと考え

ます。

以下伺います。

- (1) 当市には国の天然記念物である小滝川ヒスイ峡と青海川ヒスイ峡がありますが、ヒスイ峡を活用した観光、教育等の取組状況と今後の展望について伺います。
- (2) 今後、市内外に向けてヒスイをどのように発信し、PRしていくのか伺います。
- (3) 押上ヒスイ海岸だけでなく、須沢海岸から市振海岸まで多くの方がヒスイを探しに訪れています。これらの海岸をヒスイ海岸に指定し、より強くPRする考えがあるか伺います。

3、認知症に理解あるまちづくりの推進について。

高齢化も重なり、認知症患者が増加し続けている現状であります。認知症に理解あるまちづくりに大切なのは住民との連携、対応の周知だと考えます。当市としても様々な取組を行っていますが、家族や関係機関だけでなく、地域全体で認知症の方を支えていく仕組みづくりが重要だと考え、以下伺います。

- (1) 携帯用徘徊センサーの貸与状況と、効果があった事例について伺います。
- (2) 認知症高齢者等見守りシールの交付状況と、効果があった事例について伺います。
- (3) 住民との連携、対応の周知の推進について伺います。

以上、1回目の質問になります。よろしくお願ひいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

おはようございます。

阿部議員のご質問にお答えいたします。

1番目の1点目につきましては、国土交通省のホームページによりますと、利用台数は増加傾向にあります。

2点目につきましては、現在のところ施設のリニューアル計画はありませんが、必要な整備は行っていきたいと思っております。

3点目につきましては、世界最大級のヒスイ原石を生かしたヒスイ文化や観光資源に興味を持っていただけるよう努めてまいります。

4点目につきましては、施設整備の方向について指定管理者や関係機関と協議をしております。

5点目につきましては、海水浴場開設期間中は、簡易な足洗い場とシャワー設備を設けて、対応いたしております。

6点目につきましては、修繕工事を実施予定であります。親不知の知名度を生かし、レンガトンネルを含めた観光資源を活用してまいります。

2番目の1点目につきましては、小滝川ヒスイ峡は遊歩道、野外解説板などの整備が完了しており、観光はじめジオパーク学習の場として活用いたしております。

青海川ヒスイ峡につきましては、保存管理計画に基づき、観光、教育、保全の視点から、今後、整備を進めてまいります。

2点目につきましては、ヒスイの希少性や世界最古のヒスイ文化などのストーリーを生かして、

資源保護や、またそれに配慮しながら、引き続きPRを行ってまいります。

3点目につきましては、須沢海岸、親不知海岸など、それぞれの海岸の知名度と特性を生かしつつ、ヒスイをはじめとした石拾いができる海岸として、一体的にPRを進めてまいります。

3番目の1点目につきましては、これまで7人に貸与しておりましたが、現在貸与者はございません。

また、利用者アンケートの結果から、家族の安心につながったものと評価いたしております。

なお、過去の貸与者におきましては、捜索事案は発生いたしておりません。

2点目につきましては、8月末で9人に交付いたしており、シールという分かりやすいアイテムで、家族は安心感を得られる効果があると評価いたしております。

3点目につきましては、民生委員や各地区などでシールの周知や各所へのポスター配付などに努めておまして、今後も地域の皆様方の協力を得ながら見守り体制を整えてまいります。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部・課長からの答弁もありますのでよろしくお願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

順番を入れ替えて、大きい3番、認知症に理解あるまちづくりの推進についてから、ご質問、2回目させていただきたいと思います。

認知症の方に見られる症状の一つに、徘徊行動というものがあります。家の外を徘徊した場合、最初はおうちに帰れても、認知症が進行すると帰れないばかりか、理解力・判断力も低下しているため、危険が迫っていることに気づくことが困難な場合があります。

当市には、現在、認知症の方は何名おられますか。また、そのうち高齢者のみの世帯、独居高齢者の世帯は何世帯あるか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

磯貝福祉事務所長。〔福祉事務所長 磯貝恭子君登壇〕

○福祉事務所長（磯貝恭子君）

おはようございます。

お答えいたします。

認知症の方の人数というところで、なかなか認知症の捉え方が難しく、国のほうでは65歳以上の15%の方が認知症であるというような推計をしておりますが、例えば介護保険の認定調査のうち、認知症高齢者日常生活自立度が2以上の方が認知症だと捉えた場合、令和4年の4月現在では1,981の方がいらっしゃいます。その方が仮に認知症として、今糸魚川市のほうで高齢者の方の人口のうち、大体約6割の方が高齢者のみ世帯となっております。また約2割が、在宅の独居の世帯の方というふうに、データはなっております。ですので、先ほどの1,981の方にそれぞれの率を掛けますと、高齢者のみの世帯の方が大体約1,200人ぐらいいらっしゃる、在宅の独居の方が約400人ぐらいいるのではないかという推計になります。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

ありがとうございます。当市においても認知症の高齢者の方、若年性認知症というのもだんだん増えてきているんじゃないかなというふうに予想します。

糸魚川市では、認知症で徘徊行動のある方を早期に保護するため、その方に合わせた体制づくりのため、ひとり歩き高齢者サポート事業や認知症高齢者等見守り事業に取り組まれています。サポート事業のほうではどのような体制づくりを構築しているのか、具体的にお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

磯貝福祉事務所長。〔福祉事務所長 磯貝恭子君登壇〕

○福祉事務所長（磯貝恭子君）

お答えします。

ひとり歩き高齢者サポート事業ですが、認知症の方が、一人歩きによって道に迷ったり家に帰れなくなった場合に、素早く対応できるためのチームを組んで、見守りの体制をつくる事業となっております。

具体的には、対象となる方、地域の方を含めた支援者が集まりまして、例えばその方が歩きそうな場所はどこなのかというような、確認を含めた地域ケア会議により、情報共有を図る体制のことになります。

体制の中には、地域包括支援センターや市の職員、また家族や親戚、民生委員、必要に応じては近所のお店なども含めて体制をつくっております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

認知症高齢者等見守り事業のほうで、今年度から新たにスタートした見守りシール事業ですが、シールを貼っただけで解決できるものではないというふうに考えております。早期の発見、保護を進めるこの事業では、発見者が、このシールの存在や仕組みを知っているか否かが大きなポイントとなると考えます。より多くの方に事業内容や発見したときの対応の周知をすることが重要だと考えますが、どのように周知を進めているか、また、この事業が、現在どの程度周知できているとお考えか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

磯貝福祉事務所長。〔福祉事務所長 磯貝恭子君登壇〕

○福祉事務所長（磯貝恭子君）

お答えします。

見守りシールの事業は、今年度スタートしたということで、5月の広報いといがわで、まず周知しております。後は地域包括支援センターの会議であるとか、民生委員さんの会議の場で、こちらの制度の説明をしております。それから、また病院や薬局、それから歯科医院、また地区公民館等にポスター掲示をお願いしておりますし、また、市内の見守りネットワークに協力していただいている事業者さんにもポスターのほうは送らせていただいておりますが、議員が言われるように関係者だけ知っているだけでは、この事業は広がっていかないのです、より多くの方が、まずこのシールの存在を知っていただくというのがポイントになるかと思っております。その意味では、まだまだ周知は、まだ足りていないところもあると思っております、今、ポスター第2弾として、まずこのシールを気づいてくださいという、シールに特化したポスターを作っております、これを近くまた貼っていただくと考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

新たに真っ赤なポスター、分かりやすいやつですごくいいと思いますが、当市には、令和4年4月現在で、4,200人近い、市民にしたら1割以上の方の認知症サポーターがおられます。そのサポーターの方々へ、見守りシール事業の周知というのは行っていますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

磯貝福祉事務所長。〔福祉事務所長 磯貝恭子君登壇〕

○福祉事務所長（磯貝恭子君）

お答えします。

認知症サポーターは、多くの方に認知症に対する正しい知識と理解を持っていただき、できる範囲で手助けをして、優しいまちづくりをつくっていきましょうという事業になりまして、登録制ではないものですから、サポーターの方を対象にした周知というものは行っておりません。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

新たに新しくポスターも作成して、周知に取り組むということなんですけれども、ポスターだけで周知はできるかもしれないんですけど、実際に使うということがなかなか難しいんじゃないかなというふうに考えますので、ちょっとご提言なんですけれども、今後、認知症サポーター講座等がありましたら、実際にそのシールを使って、QRコードの読み取りから、どこシル伝言板を使って保護までを一連の流れを体験していただく体験会等の開催のお考えはありますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

磯貝福祉事務所長。〔福祉事務所長 磯貝恭子君登壇〕

○福祉事務所長（磯貝恭子君）

お答えします。

確かにシールを知っていただくだけでは足りていないと思いますので、そのような体験会も含めて、今ちょっとまだできていないんですけれども、取り組んでいきたいと思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

ぜひよろしく願いいたします。

また、幅広く周知していく、巻き込んでいくということを考えると、企業への周知も効果的かと思えます。商工会議所や商工会に協力を仰ぎ、企業にも協力していただき、事業内容を広く周知し、認知症についての普及啓発、理解してもらえよう取組のお考えはありますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

磯貝福祉事務所長。〔福祉事務所長 磯貝恭子君登壇〕

○福祉事務所長（磯貝恭子君）

お答えいたします。

企業のほうにつきましては、先ほどの認知症サポーター養成講座の実施を通して周知・啓発活動を行っておりますが、また引き続き、それを呼びかけていきたいと思えますし、見守りシールについても新しい制度ということで、併せて周知を図っていきたいと思えます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

先ほども申しましたが、この仕組みを知ってるか否かというのが大きなポイントだと思いますので、ぜひ取組のほうをよろしく願いいたします。

また、平成30年度から取り組まれている携帯用徘徊センサー貸与事業の内容について、どのような仕組みで見守れるのか、機器の機能、特徴等も含めてお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

磯貝福祉事務所長。〔福祉事務所長 磯貝恭子君登壇〕

○福祉事務所長（磯貝恭子君）

お答えいたします。

徘徊センサーの対象となる方は、認知症による徘徊行動が認められる方、またその行動のおそれ

がある、おおむね65歳以上の方であって、地域包括ケア会議において、徘徊の可能性が高いと判断された家族の方などに発信機1台と受信機1台を貸し出すという事業になっております。

対象となる高齢者の方が、発信機、子機を持って、その方が、例えば外出したりして一定距離離れると、距離については大体100メートルぐらい離れますと、親機、受信機のほうのアラームが鳴るので、これは1人で外に出てしまったなというのがご家族の方が気づくというものになります。万一、その後、その方の行く先が分からなくなった場合に、その受信機で1キロメートルの範囲で、どちらの方向でどのぐらいの距離にいるかというのが、電波の強弱がそれを追えるようになっていて、それで検索をするというような機械になります。

特徴としましては、糸魚川の場合、山の畑のほうにお年寄りが行くことが多いだろうというケースが想定されるので、この機器を導入するに当たっては、消防のほうの意見も頂いて、これは山岳遭難用の検索で使われる機器となっておりますが、このような機器を導入しております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

徘徊センサーを利用された方、今まで7名、現在の貸与状況はゼロということですが、利用された方のご家族等の生の声と、あと、この機器が利用者の実態に沿っているものと考えているか、お聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

磯貝福祉事務所長。〔福祉事務所長 磯貝恭子君登壇〕

○福祉事務所長（磯貝恭子君）

お答えします。

利用者の方からの聞き取りによりますと、やはり機器があったことで安心してられたという声を頂いております。この機器は、貸している方の介護度が上がったり、また外出できなくなったり、施設入所になったりすることで必要なくなるということで、現在貸与している方はいらっしやいません。

あと、ほかの意見として、機器を持って出かけないと意味がないので、そういう習慣がない方については、なかなかちょっと活用がしづらいというような話であるとか、あと、充電等のメンテナンスを家族がしなければいけないというところの声は聞いております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

警視庁の発表によりますと、令和2年の認知症による行方不明者は、全国で1万7,565人に上るとのことです。徘徊センサー貸与の事業も行っていますが、これだけでは対応できないと考え

ます。認知症の高齢者が行方不明になった場合、発見までの時間経過により生存率が低下していくとの報道もあり、早期発見が重要課題であります。現在、効果的な対策として注目されているのが、GPSの端末です。

群馬県高崎市での事例ですが、GPSを使った徘徊高齢者救済システムを採択しています。このシステムは、市が小型GPS端末を無料で対象者に貸し出し、ベルトや靴につけて利用してもらうといったシステムであります。80代認知症の男性がいなくなったときは、家族がすぐに駆けつけられなかったにもかかわらず、警察と見守りセンターが情報を共有することで、9キロ先でも無事に保護することができた。

また、80代の認知症の女性が群馬県内の施設からいなくなったときは、位置情報が東京都でしたが、区と警察と情報を共有することで、無事に保護することができたとあります。

また、GPS端末は小型のため、お守り袋に入れて使うことや専用の袋に入れて、服やかばんに縫いつける、靴の中に入れるなど、対象者の特性に合わせて使うことができます。

今年度に入ってから、市内でも2件行方不明者の情報が、LINEや安心メールで流れました。どちらも80代の方ということで、認知症の症状による徘徊が原因だと予想します。徘徊者の発見に、より効果的なGPS端末の導入等、認知症患者の特性に合わせた支援のお考えはありますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

磯貝福祉事務所長。〔福祉事務所長 磯貝恭子君登壇〕

○福祉事務所長（磯貝恭子君）

お答えします。

先ほど申し上げましたとおり、今使っているセンサーについては、1キロ以内でないと通信できないというところがあります。GPSのほうは、対して携帯電話の通信エリアであれば、位置を把握することができるので、議員の言われるように、例えば市外から電車に乗って出て行ってしまったというような場合には、正確な位置が把握できるメリットがあるというふうにして考えております。糸魚川市の地理的な状況や、また認知症の特性、その方の特性等によって、どのような機器がいいかというのは、また情報を集めていきたいと思っておりますし、新しい機能を持った、またそういう技術ができてくるかもしれませんので、常に情報を収集しながら、よりよい見守り体制について構築していきたいと考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

認知症により徘徊が発生すると、本人だけでなく家族の精神的負担も大きくなるのが考えられます。GPS端末を導入することで救える命があると思っておりますので、ぜひご検討いただきたいと思っております。

今や認知症は特別ではなく、誰でもなり得る病気であります。そういったことも周知し、地域で

見守っていける仕組みづくりが必要です。

また、症状の進行により、対応も変化していくと考えますので、地域包括支援センターをはじめ、関係機関との連携をしっかりと取り、その方に合った支援ができるように進めていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

次に、1番、親不知ピアパーク及び周辺の整備について伺います。

高速道路を利用される方の多くがETCを搭載するようになり、平成30年3月から高速道路の一時退出を可能とする賢い料金の社会実験が、国土交通省により実施されています。随時、制度の見直しがなされ、令和4年7月からは、一時退出時間が2時間となっています。この制度は、高速道路外の休憩施設等の利用を目的とした一時退出を可能とする実験ですが、本市として親不知ピアパークが対象の道の駅になっていることをどう受け止めておるか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪股青海事務所長。〔青海事務所長 猪股和之君登壇〕

○青海事務所長（猪股和之君）

おはようございます。

親不知ピアパークが、道の駅として今回の社会実験に選ばれているということにつきましては、誘客促進につながる好機と捉えております。今後、このETC2.0搭載している道の駅の一時退出が可能な利用の促進につきましては、国のホームページ等、また公表されるデータ等も確認しながら、どんな対応ができるかということを考えてまいりたいと思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

この実験の対象となっている道の駅は、全国で29か所のみであり、その一つが親不知ピアパークであります。今後、どのようにこの制度を活用し、誘客促進を図っていくか、お考えを伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪股青海事務所長。〔青海事務所長 猪股和之君登壇〕

○青海事務所長（猪股和之君）

先ほど申し上げました答弁と重複するところがありますが、この社会実験によりまして、国土交通省のほうからホームページ等で利用状況、一定程度公表されておりますので、そういうものを確認しながらどんな対応が、親不知ピアパークとしてどんな対応が可能かということ指定管理者等とも相談しながら対応してまいりたいというふうを考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

親不知ピアパークは、国道に背を向ける形で営業されています。そのため国道を走る車からは道の駅の全容が確認できない、分かりづらい施設となっています。看板等も設置されていますが、目立ちにくい看板で、出入口も一か所しかないことから、車で通り過ぎてから道の駅に気づくような状況であり、宣伝効果は、いま一つと考えます。何か入りやすい、入りたくなる仕掛けが必要だと考えますが、いかがお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪股青海事務所長。〔青海事務所長 猪股和之君登壇〕

○青海事務所長（猪股和之君）

今ほど議員ご指摘のように、国道からは見えづらいといいますか、施設の外壁しか確認できないというような状況がございます。すぐがいい方策、どういう方策が見つかるかということは申し上げられませんが、案内板だけでなくSNSとか、そういった情報ツールを活用しながらPRに努めてまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

先日、道の駅第三ステージと位置づけ、地方創生、観光を加速する拠点へ進化するための取組を促進すると、国土交通省により発表がありました。

内容としては、先進的な道の駅で、安定運営と地域全体の発展の実現方策を探求するモデルプロジェクトを実施し、得られたノウハウを全国展開していく。老朽化、コロナ禍など、全国的な課題に対応するため、道の駅の底上げを図るハード・ソフトの現場支援の強化の2点であります。今では、道の駅は、全国1,160か所に展開され、それとともにその役割も進化しております。

国土交通省は、2025年に道の駅が目指す姿を3つ掲げています。

1つ目が、海外へのプロモーションやプロジェクトの展開を国が推進し、道の駅を世界ブランドにすること、2つ目が、東日本大震災など、災害時に防災拠点としての役割を發揮したことを受け、防災機能を強化した道の駅、3つ目が、あらゆる世代が活躍できる地域センターの役割も兼ね備えた道の駅と示しております。

市としては、これらを受け、今後どのように取り組んでいくお考えか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

おはようございます。

お答えさせていただきます。

現在のピアパークにつきましては、道の駅創世記の第一ステージの整備でありまして、その当時は、通過する道路利用者のサービス提供の場としての機能が求められておりました。

平成25年に国土交通省では、第二ステージとしまして、道の駅自体が目的地とし、地域の創意

工夫が期待されておりました。

なお、能生マリンドリームにつきましては、第二ステージにおきます重点道の駅となっております。

そのような中、令和2年に第三ステージとしまして、1つは、道の駅を核に地方創生、もう一つは、持続可能な安定運営の2点を目的としました地方創生、観光を加速する拠点として、国では、さらなる活性化を目指すとしております。

その中で、3つの目指すべき姿が示されておまして、1つ目は、道の駅の世界ブランド化、2つ目は、新防災道の駅、3つ目は、あらゆる世代が活躍する舞台となる地域センターであります。

先ほど阿部議員がおっしゃったとおりでありますことから、その目指す姿を考えますと、キーワードとなるのは、体験や滞在、交流がキーワードになるかなというふうに思っております。今後、ピアパークやマリンドリームのリニューアルを検討する場合には、第三ステージの考え方を取り込んでいきたいなというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

先ほどご答弁でもありましたが、社会実験の関係で、道の駅の利用者が増えたということもありましたが、また最近では、NHKの番組で、親不知ピアパークが取り上げられて、それも相まって、来客数が増加していると伺っております。非常にうれしく思っております。

しかしながら、ピアパーク開設から30年以上経過しており、設備の老朽化が目立ってきています。特に気になったのは、トイレであります。トイレの多くが和式であり、利用しづらい状況となっておりますが、現状について、市としてどうお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪股青海事務所長。〔青海事務所長 猪股和之君登壇〕

○青海事務所長（猪股和之君）

トイレにつきましては、観光施設の誘客を左右する重要な設備だというふうに捉えております。今の時代にそぐわないといいますか、ふさわしくない和式が多いとか洋式が少ないとかということにつきましては、それぞれそのトイレの形を修繕したり、改修したりということを考えていかなければならないというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

今ほどトイレの改修について、前向きなご答弁いただき、ありがとうございました。現状として、大型の観光バス等も多く来られてるんですけども、やっぱりご高齢の方が観光バスには多いようで、洋式トイレが1個ぐらいしか現状ないんですね。そこを使うために行列になっているというような状況が、親不知ピアパークでは起きているというふうに伺ってます。素早い検討が必要だと思

いますが、お考えをお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪股青海事務所長。〔青海事務所長 猪股和之君登壇〕

○青海事務所長（猪股和之君）

トイレが使いづらいために大型観光バスが寄ることを敬遠するというようなことは、避けなければならないことだというふうに思っております。先ほどの答弁の繰り返しになりますが、施設の優先順位を考慮した上で、早い段階でトイレの修繕というものを行っていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

相当優先順位は高いというふうに考えてますので、ぜひよろしく願いいたします。

次に、翡翠ふるさと館についてお聞きします。

今回、ピアパークは、ヒスイが拾える海岸として取り上げられました。ピアパークには、世界最大級のヒスイの原石が展示されています。そこが翡翠ふるさと館であります。

年間来場者数はどのくらいか、また、「ドキュメント72時間」のヒスイ探しの放送があつてから、来場者数に変化があつたか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪股青海事務所長。〔青海事務所長 猪股和之君登壇〕

○青海事務所長（猪股和之君）

翡翠ふるさと館の入館者数でございますが、今年度8月末の数字でございますけれども7,353という数字になっております。

ちなみに、令和2年、3年につきましては、コロナ禍の影響によりまして人数が減っておりますが、通常ベースの令和元年の数字でございますと、1年間トータル9,843という数字になっております。

NHKの「ドキュメント72時間」の放映後ということではありますが、令和元年の通常ベースの7月、8月、たしか放映は6月だつたと思っておりますが、7月、8月の入館者数と比較しますと100名弱増えておりますが、そのことが直接NHKの放映によるものかどうかということにつきましては、不明確であります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

市としては、この世界最大級のヒスイの原石の存在について、どのように考えてるか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

やはり糸魚川市の観光の核となっておる状況でございますので、そして、そのヒスイをしっかりと展示してあるところというのは、フォッサマグナミュージアムとふるさと館だけでございますので、少し見えにくいとか入りにくい状況を感じておりますので、それをどう工夫していくのか。そして内部につきましても、やはり一定の期間が過ぎておまして、その辺をどのようにしていくかというのは、1回目でお答えさせていただいたように整備をしっかりと示していきたいなと思っております。建物自体は、しっかりお造りいただいておりますので、旧青海町のときにしっかりとお造りいただいておりますので、それはそのまま生かしていきたいと思っておりますが、やはり動線が少し弱いようでございますので、それをしっかりと進めていったり、内部をしっかりと、現在の形に合わせていったりを示していきたいなと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

今回の一般質問でいろいろ調べさせていただいたんですけど、その中でインターネットで翡翠ふるさと館のロコミが書かれてたので、ちょっと紹介させていただきたいと思っております。

駐車場にはたくさんの車が止まっていて、人も結構いたのに翡翠館には誰一人おらず、誰も糸魚川のヒスイに興味がないのかな。無料で入れたのはいいけど、何だか薄暗く、かび臭いような独特なさびれた臭いがし、そしてヒスイの彫刻だけが異様なオーラを醸し出し、何だか不気味でした。ヒスイがたくさん置いてあるのに係員や警備員もいません。何年か前に来たときには、もっと活気があって、たくさん人もいて、ヒスイ欲しいなどと思わせてくれた場所だったと記憶していたのに何だか残念ですというふうに、こう書かれていました。このほかにもマイナスの評価がすごく多かったように感じます。

実際、私も現場見てきたんですけども、掃除も行き届いてなくて、ショーケースにもほこりがかぶっているような状態でした。

今現在、翡翠ふるさと館の管理というのは、適切にできているものと考えていますでしょうか。また、これを受けて、今後どのように管理していくか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪股青海事務所長。〔青海事務所長 猪股和之君登壇〕

○青海事務所長（猪股和之君）

今ほど議員のご紹介ありましたロコミの状況を考えますと、施設管理という面では最低限のことをしなければいけないのに、掃除も行き届いてなかったというようなご感想をお持ちだということで、これは変えていかなければならないというふうに思っております。

オープン当初から、ヒスイの加工・販売を手がける民間業者に委託して、管理をしております。

今後は、その委託業者とも管理の仕方、改善すべきところは改善し、修繕しなければいけないところは修繕し、対応してまいりたいと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

先ほど市長からも観光の核となるというふうにご答弁いただきまして、私も本当にそう思います。今現在30年以上経過していることもあって、翡翠ふるさと館、施設自体も老朽化して暗いんですよ、中も。ちょっと湿気もすごくて、今ヒスイが県の石に指定が進められています。世界最大級のヒスイの原石が展示されている施設は、観光資源としてもとても価値のあるものだと考えております。現在、翡翠ふるさと館は、コンクリートの壁に覆われて、外からヒスイの原石が見ることができませんが、これをガラス張りにして展示、夜間はライトアップ、そうすることで国道からも見えるようになって、そういう仕掛けができれば、ヒスイのPRだけでなく、当市のランドマーク的な存在にもなり得ると考えますが、いかがお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪股青海事務所長。〔青海事務所長 猪股和之君登壇〕

○青海事務所長（猪股和之君）

お答えします。

今の議員ご提案のガラス張りにしてというようなことですが、翡翠ふるさと館だけでなく、ほかの施設、ほかのピアパークの施設も30年以上経過して、老朽化が目立つようになってきておりますので、翡翠ふるさと館だけでなく、ほかのピアパークの施設もどうしていくんだということも考慮して、考えていかなければいけないというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋産業部長。〔産業部長 大嶋利幸君登壇〕

○産業部長（大嶋利幸君）

ヒスイが、今県の石に指定されようという状況でございまして、当面、翡翠ふるさと館を活用しまして、ヒスイですとかヒスイ文化を紹介できるような、当面できる対応は取ってまいりたいというふうにご答弁をいただいております。その後、状況に応じまして、施設全体的なリニューアル計画とか、そういうものも必要になってくるのではないかとこのように思っておりますが、当面の対応としてパネル展示になるのか分かりませんが、県の石の指定に対応した見せ方というのは必要かなというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

市長、何かお考えあればお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

今ほど議員ご提案のような形は、やはり理想かなと思うんですが、しかし、建物で壁は取ってということはなかなか難しいかもしれません。

ただ、今の現状でよしとしておるわけではございませんので、やはり今ご指摘したような、これは逸話なる事実だと思っております。ぜひともそれは変えていかなくちやいけないし、環境をしっかりと変えていきたいと思っております。

県の石という指定になった一つの大きな事柄というのに、一つの区切りみたいな形で整備をしていきたいなど、整備といいましょうか、今のふるさと館をもっともっと遠くからも見える、そしてまた入っていただける。入っていただいたら、少し新たな見せ方というものにしていきたいなど思っておりますので、そういったふるさと館については、そう進めていきたい。全体的なリニューアルについては、今ほど大嶋部長が申し上げたように、どういう形でやればいいのかというのは少し時間がかかるかもしれません。

しかし、ふるさと館だけはそういった形で早急に対応してまいりたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

市長、ありがとうございます。

糸魚川は新潟県の最西端の市であります。国道を走る方にとって、そういうガラス張りというか、そういう新しいことができれば、とてつもないインパクトを与えるとともに、世界最大級のヒスイの原石の展示というのが最大限にPRできると考えますので、今後、大切に管理・運営を徹底していただいて、今後についても前向きにご検討いただきたいと思えます。

次に、アウトドア施設についてですが、ピアパークのように目の前が海の好立地の場所は、キャンパーたちにも好まれると考えます。車を横づけし、テントを張れるオートキャンプ場、キャンピングカーの方を対象としたRVパークが道の駅に併設されることが増えています。昨今の感染症拡大防止の観点から、キャンプに注目が集まり、キャンプの人气が高まったことはご承知かと思いますが、日本RV協会の調べによりますと、キャンピングカーの保有台数も、ここ10年で3倍にまで伸びており、市場規模は急激に拡大し、13万6,000台に達したとありました。施設整備費も比較的安く抑えられるのがキャンプ場であります。

先ほどご答弁でも前向きなお言葉があったかと思いますが、改めてですが、多くの誘客を見込め、費用対効果も高いと考えるこのキャンプ場について、どうお考えでしょうか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

井川副市長。〔副市長 井川賢一君登壇〕

○副市長（井川賢一君）

お答えいたします。

ちょっと先ほどの質問にも少しかぶるんですけども、ピアパークについてはオープンから34年経過をして、今、施設全体が配置が分かりにくいとか設備が老朽化してるというご意見あったと思います。それで、実は6年ほど前に高速道路の橋脚の耐震化工事の打診がありまして、そういったものが施工される場合には、その建物が支障になる可能性があるもんですから、そこはなかなか整備が進まなかった部分と、そういった面で補償を受けて何とかリニューアルできないかという考えを持って、今までこのような形で進んできたんですが、なかなかそういった整備が進まないことから、ちょっとやっぱり一歩前へ出て、しっかりリニューアル計画を立てていく必要があるというふうに思っています。

その中で、施設全体の配置を考えるわけですが、現在、阿部議員のほうからはキャンプ場、オートキャンプ場ですか、そういった提案があったと思います。施設のエリアも限られているので、どの辺りが効果的なのか、あるいは既存のエリアだけで本当にいけるのかということについては、十分研究をして、前向きに今検討したいというふうに思います。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

井川副市長、前向きなご答弁ありがとうございました。

キャンプは、今やもうブームではなく文化になりつつあると考えます。ピアパークの立地を生かし、海を目の前にキャンプができる道の駅ができれば、交流人口の拡大に寄与すると考えますので、ぜひご検討をお願いします。

次に、シャワー設備であります。今ほどシャワー設備があるというご答弁いただきました。今年度、観光協会から発行された市内海水浴場のパンフレット、そちらには、親不知ピアパークはシャワー設備なしというふうに表記されています。パンフレットを見た人は、設備の有無で行く行かないを判断されるかと思いますが、表記の変更のお考えありますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪股青海事務所長。〔青海事務所長 猪股和之君登壇〕

○青海事務所長（猪股和之君）

今ほどの観光協会のパンフレットにシャワー設備の表記がなかったということで、確認を怠っておったということで、大変申し訳ございませんでした。

来年度、海水浴場開設時に向けて、シャワー設備ありという表記に訂正させていただいて、それから海水浴場のホームページでもシャワー設備なしとなって、（簡易な足洗い場）というような表記になっておりますので、そちらのほうもしっかりとシャワー設備ありという表記に改めたいと思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

素早くよろしくお願いいいたします。

次に、親不知コミュニティロードの整備について伺います。

近年では、自転車人口も増加し、市内でも多くの自転車を見かけるようになりました。また、断崖絶壁や海が一望できる展望台「如砥如矢（とのごとく、やのごとし）」の彫刻等が、ブラタモリも紹介され、いまだに多くの方が訪れています。

今ほどコミュニティロードについては、整備していくというふうにご答弁いただきました。皆さんが安全に散策できるよう整備を進めていただきたいと思います。

また、先ほどの市長のご答弁の中でもありましたが、親不知レンガトンネル、こちらも観光資源として誇れるものと考えています。このトンネルは、夏でもトンネル内が涼しくて、温度差がすごくあるトンネルです。これを体感するだけでなく、視覚的にも違いを認識してもらって、真ん中だとどくらい違うのかとか、入り口等、こういうアトラクションというか実際に肌感だけでなく、目で見ても分かるような温度計の設置等の取組も必要かと考えますが、いかがお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪股青海事務所長。〔青海事務所長 猪股和之君登壇〕

○青海事務所長（猪股和之君）

レンガトンネルの温度と外気の温度の違いということで、温度計を設置すればどうかということですが、レンガトンネルの中、確かにひんやりとした空気が流れております。視覚的にも、設置場所とか設置箇所数は検討させていただきたいと思いますが、対応できるものはすぐにでも対応したいと、温度計の設置を考えてまいりたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

補足させていただいて、お答えさせていただきます。

やはりレンガトンネルにつきましては、まだ魅力を十分発揮されていないと捉えとる部分がございますので、今ご指摘のそういった表示等も大きなインパクトになると思いますので、それもさせていただいたり、まだまだその辺をどうトンネルの魅力というものを発信させるかというのを出していきたいなと思っております。

そうすることによって、コミュニティロードと一体となっておいでいただけるのではないかなと思っておりますし、またもう一つは、今まで進めてきた施設についても、もう一度見直ししながら、ちょっとやっぱり経年劣化を感じるものもあるものですから、そういったところをも少しリメイクしてもいいのかなとは思っております。一体的に捉えながら、そして安全な対応をしていきたいなと思っておりますので、そういう整備を進めてまいりたいと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

親不知レンガトンネル、建設から100年以上たつて、ほぼほぼ修繕もないというふうにお聞きしています。建築物としても優れているんですけども、ただトンネル渡るといふ言い方もあれなんですけど、真っ暗ですし、じっくり見てもらう、プラス新しい取組でどんどん魅力を上げていっていただきたいので、楽しんでもらえるアイデアを出し合って、進めていただきたいというふうを考えます。

道の駅に関して、最後の質問になります。

親不知ピアパーク設置から同じぐらいの年数が経過しているマリンドリーム能生ですが、令和4年3月にマリンドリーム能生周辺整備等活用推進ビジョンのほうで策定されています。これまでピアパークの現状や課題について、様々ご提言させていただきました。ご答弁の中でも全体的に進めるというふうにありましたが、親不知ピアパークに関して新たな展開、具体化を進める必要があります、タイミングは今だというふうに考えております。親不知ピアパーク周辺整備等活用推進ビジョンを策定し、取組を推進していくお考えはないか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えさせていただきます。

先ほども井川副市長からお話ありましたように、親不知マリンドリームにつきましては、オープンから34年経過しております。施設の老朽化が進む中で、重点道の駅になったマリンドリームにつきましては、昨年、そのマリンドリーム内で営業しております事業主や小泊等地元の住民、また、利害関係者も多数いることから、関係者によりますワークショップを開催しまして、利活用の推進ビジョンを策定したものであります。そのビジョンを明確に具体化するために、本年度は整備計画を進めておるものでございます。

阿部議員のご提言のとおり、ピアパークもマリンドリーム同様に、レンガトンネル、コミュニティロード、また、まるたん坊等、周辺施設も多数ございます。その連携を図る計画を検討する時期と考えておりますので、地元や関係者の意向を確認する機会を今後設けていきたいというふうを考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

ヒスイ探しのみならず、豊富な海産物、ダイビングの体験、日本海に沈む夕日等、海を前面に押し出すことで利用者ニーズに応えることができる場所だと思っております。今ほど大西課長からご答弁ありましたが、地域の方としっかり連携して、取組を進めていただきたいというふうを考えま

す。よろしく願いいたします。

次に、2番、ヒスイを最大限に生かした取組の推進についてお伺いいたします。

小滝川ヒスイ峡の整備は、ほぼほぼ完了というふうにお聞きしましたが、青海川ヒスイ峡は手つかずとなっております。

先日、ヒスイの県の石指定も目前という報道もありました。青海川ヒスイ峡の保存管理計画も策定されていますが、青海川ヒスイ峡の整備について、どのように今後進めていくか、お聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

山本文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 山本喜八郎君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（山本喜八郎君）

お答えいたします。

青海川ヒスイ峡の保存管理計画につきましては、平成27年に策定しております。その後、整備計画を策定し、整備を行う予定でしたが、国名勝に指定された奥の細道、親不知の整備を優先したため、青海川ヒスイ峡の整備につきましては、現在進められていないような状況でございます。

ただ、奥の細道の風景地の整備も完了いたしましたので、今後は保存管理計画の方針に基づき、観光、教育、保全の視点から具体的な整備計画を策定し、計画的に整備を進めてまいりたいというふうに考えております。

なお、時期につきましては、今月末に文化庁の調査官も視察に来られます。その状況にもよりますが、特に整備に当たって問題がないということであれば、来年度、令和5年度に整備計画を策定し、その翌年度から整備に入っていく予定ということでございます。

私どもといたしましても、少しでも早く整備を行いまして、観光や教育等に活用してまいりたいというふうに考えております。

以上でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

今ほど課長のほうからも青海川ヒスイ峡は教育・研究という言葉ありましたがけれども、保存計画の中でも青海川ヒスイ峡は、教育と研究の場として最大限活用していくというふうに書かれています。どのように活用していくのか、具体的にお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

山本文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 山本喜八郎君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（山本喜八郎君）

お答えいたします。

具体的な活用ということでございますが、今後、国からの指導や整備計画策定委員会でのご意見

を賜る中で、整備と活用について協議してまいりたいというふうに考えておりますが、青海川ヒスイ峡は、美しく巨大なヒスイ原石が自然のまま残されていることから、ヒスイの産出状況を直接、観察できる場所としてジオパーク学習や学術研究等を中心に活用してまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

先ほど親不知ピアパークのほうの翡翠ふるさと館のお話ししましたが、そこに展示されているヒスイの原石というのが、青海川ヒスイ峡から移設された原石であります。また、その移設の際に割れてしまったということがあったそうです、当時。その2つに割れてしまった大きいほうが、翡翠ふるさと館、小さいほうがきらら青海の前に設置されているというふうにお聞きしています。移設した当時の映像も残っているということなので、それをもっと活用していくことで、一連の当時の方たちの思いですとか、そういうストーリーというのも伝えられて、もっとぐっとくるんじゃないかなというふうに考えますが、誘客にもつながると思いますが、いかがお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

山本文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 山本喜八郎君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（山本喜八郎君）

お答えいたします。

青海川ヒスイ峡と翡翠ふるさと館をつなぐ一連のストーリーとして、移設当時から残されている映像は、大変貴重なものだというふうに思っております。今後も関係部署で連携を図る中で、映像をうまく活用し、誘客につなげてまいりたいというふうに考えております。

また、今後の整備につきましても、青海川ヒスイ峡、翡翠ふるさと館等を一連のストーリーとして考える中で整備を行ってまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

青海川ヒスイ峡の整備は、地元の人にも本当に長年待ち望んでいた事業だと思います。散策路や散策コース、ヒスイ峡までの道や現地までの看板、現地の看板、分かりやすい整備をし、訪れた方にヒスイの魅力を最大限に伝えていただきたいと思います。

また、整備に関しましては、地元の方ともしっかりと連携を取って、進めていっていただきたいと思います。

2番目、ヒスイの発信、PRに関してですが、具体的に何をしていく等、お考えあればお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えいたします。

先ほどの市長答弁のとおり、ヒスイの希少性や世界最古のヒスイ文化、またストーリーを生かし、PRを行ってまいりますというふうにお答えさせていただいております。ご存じのように、ヒスイやプレート境界で生成される鉱物でありまして、約5億年前に生まれた糸魚川のヒスイは、世界最古のヒスイと言われ、日本列島の歴史を物語る岩石として、糸魚川静岡構造線とともに世界ジオパークネットワークの関係者から高く評価を頂いております。

また、当地域では、6500年前の縄文時代にヒスイの使用が始まったといわれておりまして、古代に糸魚川で作られたヒスイ製品が、全国各地で出土しておりまして、流通の歴史や古代人の信仰や精神を探る上でも価値を有することから、引き続き、教育や学術研究といった分野で活用を図ってまいりたいと考えております。

なお、活用を図るコンテンツといたしましては、引き続き、石探しや石の顔づくり、石のカードなど、子供でも分かりやすく親しめるメニューを工夫しながらPRに努めてまいりたいと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

ヒスイは、地質や鉱物学、古代文化史を研究していく上で貴重な存在であり、保護・保全を徹底し、将来に残していかなければなりません。

その一方、宝石やジュエリーとしても魅力があるものです。例えばですが、エルメスやティファニー等のブランドにヒスイを提供し、ヒスイを使ったアクセサリーを作って販売してもらうことで今までにない発信、PRができると考えます。

また、糸魚川法人会で主催している翡翠ジュエリー・アクセサリーデザイン画コンテストですが、こちらで受賞された作品を製品化した例はあるが、商品化までには至ってないというふうにお聞きしました。一流ブランドにヒスイの提供やデザイン画コンテストの作品を商品化し、販売等、今までにない話題性を持たせたPRについて、お考えはありますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えいたします。

阿部議員のとてもユニークな提案ありがとうございます。ユネスコ世界ジオパークの大前提としまして、今ほど阿部議員がおっしゃったとおり、地域資源の保護・保全と持続可能な活用が求められております。

ジオパークの立場としてですが、ヒスイ製品の販売にいたしましては、糸魚川産のヒスイ原石を適切に管理しながら、手工業的に加工したもののみが伝統工芸品として認められているものであり

ます。ご提案のありましたコンテスト入賞作品の商品化や有名ブランドと連携したヒスイ製品販売につきましては、ユネスコに認められている形態と異なりますことから、現状では困難であると考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

国石でもあるヒスイ、国内にはヒスイの産地が幾つかあります。今回、県の石となると県内の産地は、当市糸魚川のみだというふうに思っております。国、県と協力しながら、今までにないPRをしていくことで、よりジオパークとしての取組であったり、そういうのが伝わると思いますので、積極的に取組をお願いしたいと思います。

そこに関連してなんですけれども、次に、ヒスイ海岸についてです。

テレビの影響もあり、ヒスイ探しされてる方が多くなっています。現在、糸魚川では、押上のみがヒスイ海岸というふうに言われていますが、ヒスイ探しされてる方は、須沢、寺地、青海、親不知、市振というふうに、本当に西の最西端までヒスイを探されている方が増えています。ヒスイ海岸の前に地名をつけて、例えば須沢ヒスイ海岸ですとか、親不知ヒスイ海岸というふうに各地区の名前を入れて、ヒスイ海岸に指定すると同時に、ヒスイを目がけて訪れている方に、糸魚川は石のまちだということも知ってもらう両方の両側面を持った取組というのができると思いますが、いかがお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えいたします。

まず、県の石になった場合のPRにつきまして、お答えいたします。

やはり県の石ということになりますので、新潟県民へのPRが大変重要であるというふうに考えております。県と連携いたしまして、新潟市や長岡市など、県内の主要都市部のシンポジウム、また展示会等の開催を検討させていただきたいほか、インターネットやテレビなどを活用して、広く情報発信のほうを図ってまいりたいというふうに考えております。

続きまして、ヒスイ海岸につきましてなんですが、やはり先ほどの市長答弁のとおり、それぞれの海岸の知名度と特性を生かしつつ、ヒスイをはじめ、石拾いができる海岸として一体的にPRのほうを、引き続き、してまいりたいと考えております。

やはり個々の海岸の名称としましては、全国的には親不知、市振の観光名所としての知名度が非常に高いため、変更することにつきましては、若干のデメリットもあるんじゃないかなというふうに考えております。

また、海岸線の全てをヒスイ海岸ということで名称をご提案いただきましたが、ヒスイが見つかる海岸といたしてPRの観点では、総称、また愛称としましてヒスイ海岸とすることは可能かもしれませんが、引き続き、調査・検討のほうをしてまいりたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

石のまちということで、ひろっこ、石を集めるやつも活用されていると思います。あれすごくいいなというふうに個人的に思います。

糸魚川のヒスイは、世界最古のヒスイと言われ、品質が良いことでも有名であります。イベントごととしてやっていくことも重要なんですが、通年して取り組んでいくことで最大限にそれが生かせるんじゃないかなというふうに考えますので、今後、糸魚川の発展のために積極的に取り組んでいただきたいと思います。

以上で、私の質問を終わります。

○議長（松尾徹郎君）

以上で、阿部議員の質問が終わりました。

関連質問なしと認めます。

ここで暫時休憩いたします。

再開を25分といたします。

〈午前11時17分 休憩〉

〈午前11時25分 開議〉

○議長（松尾徹郎君）

休憩を解き会議を再開いたします。

次に、東野恭行議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

東野議員。〔10番 東野恭行君登壇〕

○10番（東野恭行君）

おはようございます。みらい創造クラブの東野でございます。

発言通告書にのっとり、1回目の質問をさせていただきます。

1、駅北地区における核施設（子育て支援施設）の在り方について。

駅北子育て支援施設整備基本計画の策定について、令和4年7月から始まった3巡目の聞き取りが終了しました。様々な市民団体より、たくさんの意見や要望が出されたと思います。これらをしっかり受け止め、駅北に施設の建設が実現するならば、公共が担うべき役割をしっかりと果たしていただきたいと考えます。

多くの人が交流できる場の創出を願い、20年後、30年後も地区や市民の皆様に親しみ続けられる施設設置のために、時の「責任者」として、会派を代表して質問、提言させていただきます。

(1) 子育て支援施設整備基本計画の策定について、3巡目の懇談会が終了しましたが、当該施